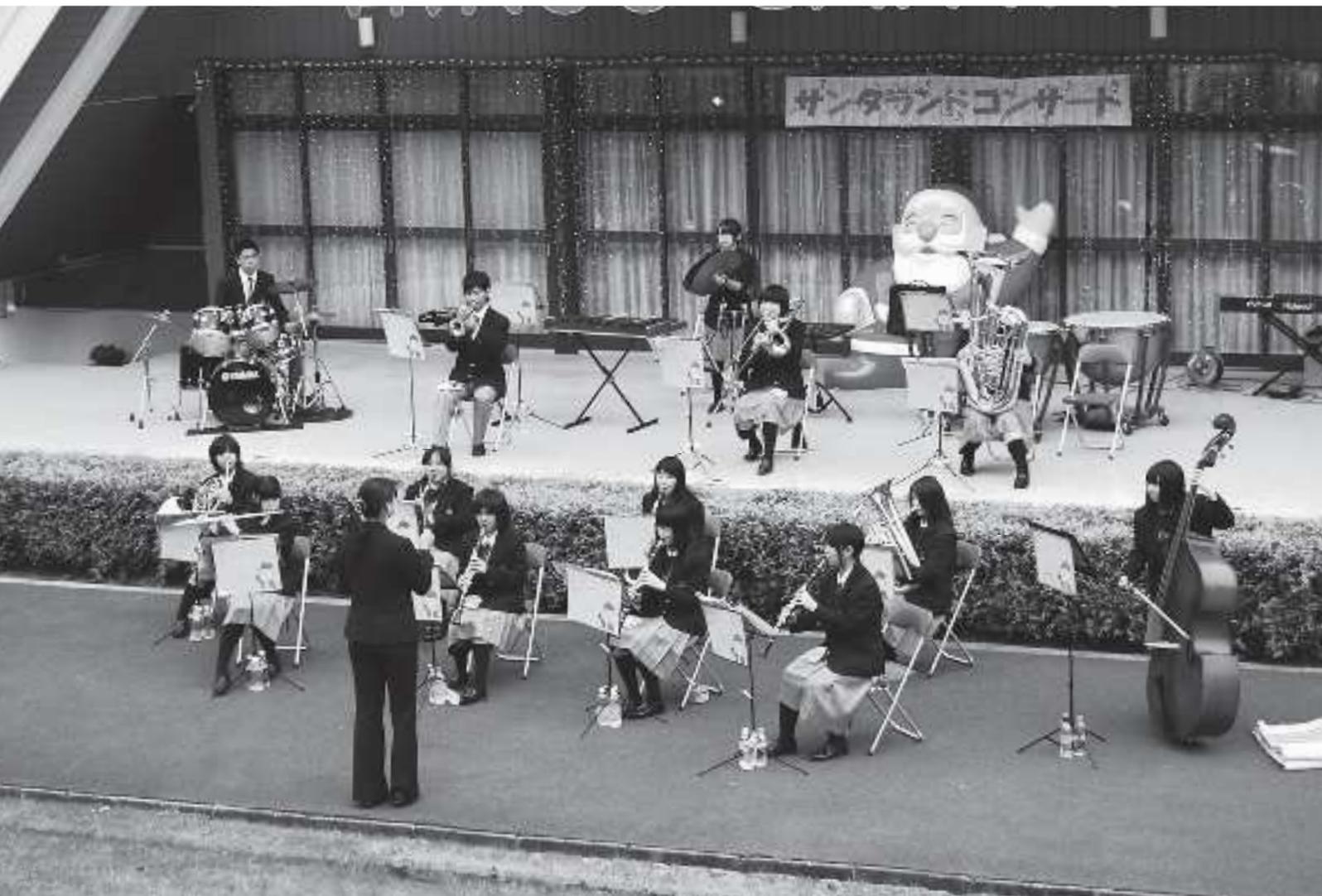


No.167  
2013.12

ひろお

# 議会だより



サンタランドコンサート（大丸山森林公園 10月6日）

## C ontents

一般質問（6人が登壇）……………	2
予算審査特別委員会 平成25年度予算を補正しました……………	9
常任委員会（総務・産業） 町の現状を視察しました……………	10
議会活動日誌／閉会中の所管事務調査 議会からお知らせします……………	12

○発行・編集／広尾町議会・議会広報特別委員会  
〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目

E-mail [gikai@town.hiroo.lg.jp](mailto:gikai@town.hiroo.lg.jp)

TEL01558-2-0180（議会直通）FAX 01558-2-2114

# 平成 25 年 第 3 回定例会

(平成 25 年 9 月 10 日～ 13 日)



今定例会では、主に条例の一部改正や規約変更、各会計補正予算などについて審議。一般質問には6名の議員が登壇し、町に考えを聞きました。また、常任委員会では広尾中学校と町内道路の現状を視察しました。(P.10～をご覧ください)



## 一般質問

議員 山谷照夫

帯広厚生病院の移転・新築に伴う広尾町の負担について

町長 十勝町村会で意思統一を図りたい

### 質問

JA北海道厚生連は、帯広厚生病院の移転・新築を計画し、本体建設費約210億円のうち3割(約63億円)を十勝管内市町村に負担を要請した。

費約85億円に対し、0・27%に当たる2307万8000円を町村会で意思統一を図るよう進める。

十勝圏の基幹病院であり、救急救命センターを備えた災害拠点病院として地域の高度医療を担ってきた医療機関への一定程度の支援についてはある程度理解するが、本町にとっても決して軽い負担ではないと思う。

国や道の支援の有無、帯広市との調整等、現段階での本町の負担額の試算は難しい。

予想される本町の負担額はどの位になるのか。また、財源の確保や今後の対応についてどのように進めていくのか。

財政措置については、現行制度では地方債が100%充当され、元利償還金の70%が普通交付税で措置される。

### 答弁

村瀬町長 本町は、救急救命センター建設

今後、帯広市の考え方も踏まえ、十勝



いっぱんしつもんとは？

一般質問(いっぱんしつもん)とは、議員が政策提案も含めて町政全般に関して町長等に考えを聞くものです。この議会日より紙面の都合上、要約して掲載しています。

小田雅二 議員



貴重なオオバナノエンレイソウの群落

# オオバナノエンレイソウを 町花として定める考えは

町長 機運が高まり、本町の節目の年に検討する

**質問** シーサイドのオオバナノエンレイソウの群落の規模が全国一とされ、以来、行政もこの保護に力を注ぎ、子供たち対象の環境学習会も開かれるなど、町全体でエンレイソウのみならず、自然や環境を守る意識が高まり、また持続されていると感じる。

その象徴的な存在として現在の町の花のつっじに新たに加えることも検討すべきと思う。

まずは十勝5町村で重複して定めており、芽室町や幕別町などは複数の花を町花として定めている。町の考えは。

**答弁** 村瀬町長 広尾町のオオバナノエンレイ

ソウは、群落では国内最大規模である。貴重な群落として適正な管理、保全に努めており、小中学生の野外事業で、身近な自然の豊かさ、自然環境への理解等、環境教育にも活用している。

町の花については、「つっじ」を選定しているが、オオバナノエンレイソウは、今後も保護に努め、一般町民や訪れる方々などから広く親しまれるよう、適正な管理、取り組みを図り、町の花として機運が高まった時点で、節目の年に制定を検討したい。

小田雅二 議員

## 原発に対する町長としてのスタンスは

町長 原発はつくるべきではない

**質問** 2年前にも同様の質問をしているが、原発に対する町長のスタンスについて質問する。

いまだに15万人以上もの人々がふる里に戻れず、福島や近隣の農業や漁業に携わる人たちは風評被害のため深刻な状況が続いている。

北海道にも泊原発があり、活断層も近くにある。最悪の事態がいつ起こるかも知れない。農業王国・十勝、そして漁業の町・広尾の首長として、さらに十勝町村会でも一定の考え方を示すべきと思うが。

**答弁** 村瀬町長 福島第1原発の事故に伴い、多くの周辺住民が避難生活を余儀なくされている。最近では、放射性物質に汚染された地下水の海への流出、地上タンクからの高濃度汚染水の流出等、汚染水問題は深刻だ。

政府は、「新基準に適合する原発は再稼働させる」としているが、世論調査などでは再稼働に慎重論が根強い。

私は、従来から原発はつくるべきではないと言ってきたおり、これからはその考えを変えようつもりはない。

今後、国は早急に原発に頼らないエネルギー政策を国民に示すよう期待する。



小田雅二 議員

# 空き家対策について 町としてどのように考えているか

## 町長 状況を見きわめ、条例整備を判断する

**質問** 過疎化が進む中、老朽化した空き家等が大変多く目立つようになった。安全面から町として指導責任も問われていくことになる。管理責任や所有者が不明である家屋が多くなってきたため、行政としての対応、対策が急務だ。

他の自治体では基準となる条例を制定し、取り壊し費用の一部負担等も考慮している。5年後10年後を想定して、条例のほかには町民相談室などの設置等、早急の対応が必要だと思つが。

**答弁** 村瀬町長 近年、管  
理不十分な空き家が  
増加しており、全国的に問題  
となっているが、建築物所有  
者が適正な管理を行わず、地  
域に悪影響を及ぼしてもその  
責任を問う法的根拠はないと  
考えられる。このため、空き  
家等の管理に関する条例を整  
備し、空き家等に対する措置  
を定めている市町村もある。  
また、新たな対策法案が国会



旗手恵子 議員

# 生活保護基準の見直しに 伴う影響について

町長

## 可能な範囲で暫定措置や 救済手段を講ずる

**質問**

8月から生活保護基  
準の引き上げが強行  
された。食料品の値上がりが  
続き、9月から電気料金が引  
き上げられる中での、戦後最  
大の保護費減額は、生活保護  
利用者にとっては死活問題と  
なる。保護費削減の影響をど  
う把握しているか。

さらに、就学援助や福祉灯  
油などの支給や住民税非課税  
限度額の目安など、さまざま  
な制度に連動してくるが、影  
響の出る制度と人数は。

3月定例会では「町の救済  
手段も講じていく」と答弁さ  
れたが、具体的対応は。

**答弁**

村瀬町長 新しい生  
活保護費基準は、激  
減緩和の措置が取られており、

7月分と比較すると、83世帯  
で平均216円の減額となつて  
いる。また、保護基準を算定  
要件としている町の制度は、  
就学援助制度など19件で、利  
用者は342人、そのうち、  
平成25年度の影響者は8人で  
影響額は8万2000円、26  
年度は17人で、影響額は88万  
3000円である。

26年度以降も、悪い影響が  
生じないよう国に対して要請  
していく。町としても、裁量  
可能な範囲内で個別の暫定措  
置や、救済手段を講じていく。

ご存じでしたか？  
広尾町議会のこと

広尾町議会本会議「定例会」は、基本的に3月・6月・9月・12月の年4回開催。  
このほか、必要に応じて開かれる「臨時会」があります。  
議場で行われる本会議は公開され、どなたでも傍聴することができます。



# 「傍聴」のご案内

## ひろお町議会を見に来ませんか？

議会はどなたでも傍聴できます。手続きも簡単です。

広尾町役場、3階にお越しください。 次の定例会の日程は裏表紙をご覧ください。

「傍聴人入口」で受付。住所と氏名を記入していただくだけです。

傍聴席へどうぞ。席は自由です。

※団体で傍聴を希望する方は、前もって議会事務局に申込用紙（団体名・各住所・氏名を記入）を提出してください。



提出される見込みである。本町は、危険と思われるものに対して要請などをしてきた。今後、条例整備はその状況を見きわめ、判断していきたい。

ズバリ  
町政を問う

# 一般質問



介護保険の充実を

旗手恵子 議員

## 介護保険制度の充実を

町長 国に要望する

### 質問

安倍政権は社会保障制度の法改正を進めようとしている。要支援1・2は、保険対象外とし、市町村

の裁量で行う地域支援事業に移すという。

さらに、一定以上の所得がある利用者の負担引き上げも

迫っている。特養ホームから「要介護1・2

の人を締め出し、利用料を引き上げることも。これでは必要な介護を受けられない人が続出しかねない。

従前どおりのサービス提供ができるよう、また制度改悪をしないよう、国に意見を上げるべきと思うがどうか。

### 答弁

村瀬町長 国は要支援者を保険給付対象から外し、独自の地域支援事業の対象に移

すことを検討している。また、高所得者の負担2割への引き上げは、今後の動向を見きわめたい。

本町の要支援1・2は127人で、要支援から要介護へ変わった人は昨年度29人、要介護から要支援へは6人となっている。

介護事業者への影響は、まだわからないが、影響が出ないよう配慮する。

要支援事業の財源は介護保険から充てられ、市町村の負担は8分の1と変わらない。国には予算が維持されるよう要望していく。



旗手恵子 議員

# 障害者控除認定の 拡充を

## 町長 関係機関と連携強化に 努め、国に働きかける

質問

4月から障害者総合支援法(※)が施行され、障害者の範囲に難病が加わり、障害福祉サービスが受けられるようになった。

介護認定を受けている人は障害者手帳がなくても「障害者控除」認定を受けることができる。同様に、指定を受けた65歳以上の難病の方が障害福祉サービスを受けるために提出した書類で、障害者控除認定書の発行が可能ではないか。税の控除も受けられると思うがどうか。

答弁

村瀬町長 現在本町では難病の障害福祉サービスについて、町広報町のホームページ等で周知を図っているが、難病者がサ-

ビスを希望した場合は、円滑に提供できるよう関係機関と連携強化に努める。

障害者総合支援法の難病に認定されても、現時点では所得税や住民税の障害者控除の対象にはならないが、65歳以上の方で知的判定や身体障害者手帳保持に準ずるものと判定され、認定証が発行された場合、障害者控除に該当する。また、年齢等に関係なく対象になるよう、所得税法や地方税法の改正について、国に対して働きかける。

(※) 障害者総合支援法  
障害を持つ方々の地域  
社会における共生等を  
目的に定められた法律。  
むこう3年を目途に障  
害者施策が段  
階的に講じられ  
る予定です。



前崎 茂 議員

# 本町教育行政の推進について

教育長 きめ細やかな指導と、計画的な教員住宅整備を行う

質問

平成19年度の  
期限付き非正  
規教員は、小中学校で  
3名であったが、24年  
度では11名と急増して  
いる。身分の安定、家庭  
保護者との十分な連携  
などが必要なことから、  
正規採用教員を配  
置するよう道教委に対  
し要望すべきでは。

本町の教員住宅は、  
昭和30、40年代の建築  
が43戸、50年代が22戸、  
その他8戸の計73戸で  
ある。建築年数では、  
40年以上が35戸で、築  
35年以上は9割を占め  
ている。他の町村と同  
様に教員住宅の計画的な改築・  
改修と住環境の整備は急務と  
思われるが。

答弁

笹原教育長 期限付き  
教員は、産前・産後  
や育児休暇の取得による代替  
教員や学級数の増、定数加配  
等である。これらは、きめ細や  
かな指導の推進のための加配  
であり、加配のための正規教



教員住宅の計画的整備を

員の配置は難しいと思われる。  
8月末における教員住宅の  
入居率は61%となっている。教  
員住宅は老朽化が進み、郡部  
においては空き家が多い。  
教員数の推移、老朽化した  
現有施設の処分等も含め、町  
全体で検討し、計画的に教員  
住宅の整備を進めていかなけ  
ればならない。

前崎 茂 議員

# 国民健康保険の 広域化（都道府県単位化）について

## 町長 改革内容は不透明。動向を見きわめる

質問

「社会保障制度改革国民会議」は、国保の保険者を都道府県に移行する時期を平成29年度を目途とし、統一保険料とはせず、市町村が保険料率を決める内容となっている。

報告書では、自治体の努力で一般会計から繰り入れしてきたものをなくし、国保税を引き上げざるを得ないこととなる問題点がある。高すぎる保険税は、国庫支出が半減したことによるものである。新制度について町長の見解は。

答弁

村瀬町長 国民健康保険の広域化は、運営を都道府県が担い、市町村は保険料の賦課徴収や保険事業の役割分担を行う。移行時期を平成29年目途とし、「国保制度に関する国と地方の協議」などで検討し、26年末に改革内容が固まる見通し。

国保は、毎年度市町村が多額の赤字補填をして運営している。国民皆保険制度を守るため、国保が抱える財政的な課題を解決しなければならぬ。具体的な改革内容は不透明だが、情報等に十分注意を払い、動向を見きわめ対応したい。

ズバリ  
町政を問う

# 一般質問



昆布干し作業 (音調津地区)

志村國昭 議員

質問

町が貸し付けた干場は漁業者が良好に維持管理し、生産される昆布製品は市場の評価が高

町長

## 漁業者、漁組と協議する

# 海産干場の環境整備を関係者と共に推進する考えはないか

いと聞く。しかし、多くの干場は従事する干場にはトイレや給水などの設備がなく、また一部に未舗装の道路もある。良質な製品出荷を維持し、更に品質を高めるための基盤として衛生面や就労環境の改善は欠かせない。

に基つき漁組と貸付契約を結び漁業者に貸し付けている。トイレや水道は個人で整備しており、行政が主体的に行うのは難しい。今後、漁業者と漁組と協議していききたい。

漁業者や従事する家族などから環境整備に対する意見、要望を聞く機会を設け、必要となる事業があれば関係者と共に推進すべきと思うが。

答弁

村瀬町長 海産干場は町が造成し「海産干場使用料条例」



北藤利通 議員

道路側溝の改修工事と  
今後の対策

町長 排水不良箇所の解決に取り組む

質問

広尾町の農業生産額は毎年、前年を上回る勢いで伸びている。

生産者は個々に排水の対策に心がけているが、近年の異常気象により、大雨のたびに作物が流され、多くの畑が湖のようになるほど冠水する。収穫の目前に冠水すると、品質低下、収穫ができないなどの状況になる。

本町の基幹産業である農業生産のさらなる向上に生産者は取り組んでいるが、町としてどのような考え方が。

答弁

村瀬町長 大雨時の道路排水施設を含む畑の冠水は、町としてもある程度把握している。原因としては、明きよの未整備地区の雨水の流入、地区の高低差、土質による排水不良などが考えられる。

道路敷地内での側溝整備が難しく、高低差の解消を図る整備が進



今後、関係機関の協力を得て調査を行い、道路側溝整備、明きよ事業及び土地改良事業等を検討し、排水不良箇所の解決に取り組みたい。

ぎかいクイズ

Q 1. 議会議員に立候補できるのは、何歳以上？  
ア. 15歳 イ. 20歳 ウ. 25歳

Q 2. 広尾町の議会議員は、現在何人いる？  
ア. 13人 イ. 23人 ウ. 33人

Q 3. 町議会議員はどのようにして選ばれるの？  
ア. 指名 イ. 選挙 ウ. くじ引き

Q 4. 議員の任期は何年？  
ア. 1年 イ. 4年 ウ. 5年

Q 5. 議会の定例会は年何回開催されている？  
ア. 2回 イ. 4回 ウ. 12回

Q 6. 議会を見られる（傍聴できる）のはどんな人？  
ア. 町民 イ. 町内会長のみ ウ. だれでも



※こたえは裏表紙にあります



元気で遊ぶ保育所園児

● 一般会計  
 問 子ども・子育て支援事業計画の内容は。

答 子どもを産み育てやすい社会を目指して、子ども・子育て支援法により5年を1期とする、子育て支援に対する

## 予算審査特別委員会

委員長 前崎 茂・副委員長 旗手恵子

### 平成25年度 補正予算

平成25年度一般会計予算ほか7会計の補正予算案8件を、9月13日に設置された予算審査特別委員会に付託(※)。同委員会で審査を行い、全補正予算を原案のとおり可決すべきと決定した。

ニーズ等の事業計画策定を義務付けられたものです。

問 認知症高齢者グループホーム建設費補助金の内容は。

答 民間施設で建設場所は広尾町西3条10丁目12番地。旧柔剣道場で、1ユニット9名で既存施設と同程度です。なお、3540万円の補助金の範囲内で建設する予定です。

(※) 付託(ふたく)  
 案件の審議や調査を他の組織などにまかせること。どの委員会が行うかは、その内容によって変わります。



グループホーム「広尾ふれあいハウス」

### 平成25年度 補正予算の内訳

一般会計 78億7004万円	2億828万円 <b>増</b>
港湾管理 特別会計 1億911万円	財源内訳補正
簡易水道事業 特別会計 6958万円	財源内訳補正
下水道事業 特別会計 4億7356万円	322万円 <b>増</b>
国保事業勘定 特別会計 12億374万円	51万円 <b>減</b>
介護保険 特別会計 6億7742万円	351万円 <b>増</b>
介護サービス事業 特別会計 2億6511万円	財源内訳補正
後期高齢者医療 特別会計 9370万円	財源内訳補正

(万円未満切り捨て)

広尾中学校体育館



考えた!

# の現状



## 総務常任委員会

委員長 小田英勝・副委員長 浜頭 勝

調査テーマ

### 「広尾中学校体育館の基本設計」について

(調査日 平成25年8月23日)

広尾中学校体育館の基本設計について、資料に基づき説明を受けた。また、調査に先立ち現地視察を行った。

### ●広尾中学校の概要

平成25年度の認可学級は11学級、教職員は27名で、生徒数は3学年合計198名である。

### ●体育館の現況と利用状況

現在の体育館は、50年以上前の昭和37年に建設されたもので、構造は鉄骨造り、面積は1058平方メートルである。構造耐震指標（I S 値）は文科省基準0.7以上を大きく下回る0.33であり、平成24年度に実施した耐力度調査においても耐力度数が2600点と基準の4500

点を下回ったことから老朽施設立替事業の対象となるものである。

体育館の利用状況は、保健体育の授業で各学年がそれぞれ年間105時間、その他体育系部活や学校行事・生徒会行事のほか、学校開放事業においても平成24年度実績で、年間188日間、時間延べ2202人が利用している。

### ●工事設計の概要

委託費は、1470万円です。委託内容は基本設計、実施設計、積算などであり、現在は基本設計をほぼ終えたところである。建設箇所については、現在の体育館の南側から

職員玄関までの長さ約60メートル、幅24メートルの箇所、一線校舎と隣接して、一線校舎と渡り廊下でつなぐこととしている。このため、現在の二線校舎の一部を解体撤去、改修し建設する予定である。規模は鉄骨平屋建て（一部2階建）で床面積は約1910平方メートルとなる。1階はアリーナほか部室、更衣室、器具庫、トイレなど、2階は主に武道場となっている。また、現在のグラウンドの法面（※）部分、



広尾中学校体育館を視察

新体育館の西側に幅4メートルの道路を造成し、緊急時に備える。改築に当たっては、これまで内部の検討協議については、これまで内部のほか学校との協議、PTA及び体育サークル代表者等が行っており、内容については理解を得ている。

(※) 法面（のりめん）切り土や盛り土によってつくられた傾斜地の斜面部分のこと。



### ●年度別計画概要

年度別計画については、今年度工事設計を行った後、平成26年度に既存校舎の取り壊し及び改修、27年度に体育館本体工事、既存体育館の取り壊し、28年度にテニスコートの移設などを行う予定であり、総事業費は約5億5400万円を見込んでいるが、今後変動も予想される。

### 主な質疑

**問** 駐車場の確保は十分か。  
**答** 駐車場については、現体育館との渡り廊下を撤去した部分や校舎全面でのスペースの確保について検討する。

とになっています。

現地視察を行っています。今回は町内視察の報告です。

見た！  
聞いた！

# ひろお



町道 (丸山保育所前)

## 産業常任委員会

委員長 佐藤春一・副委員長 北藤利通

調査テーマ

### 「町道の現況」について

(調査日 平成25年8月22日)

町道の現況について、資料に基づき説明を受けた。また、調査に先立ち現地視察を行った。

### ●道路の現状及び平成25年度の整備状況

道路の現状については平成24年度末現在、道路実延長432・366キロメートルに対し、舗装延長203・546キロメートルで舗装率47・1％となっており、市街地では道路実延長58・705キロメートルに対し、舗装延長54・333キロメートルで舗装率は

92・6％である。歩道の設置状況については、市街地で道路実延長に対する歩道設置区間延長が29・800キロメートルで、歩道設置率は50・8％である。平成25年度の維持補修・新設改良工事を合わせた道路工事については、予算額約1億3300万円、8月現在の執行率は約58％、約7800万円となっている。

問 学校への通学区域や歩道

答 維持補修については随時すみやかに実施したい。

### 主な質疑

問 段差の解消や路盤改良が必要な箇所での維持補修の対応について。

答 安全性の高い道路や歩道の整備をするために、日常的な道路のパトロールを実施したい。



町道を現況視察 (錦通)

問 二線校舎の一部を解体せずに、新体育館を建設することについて検討がされたのか。

答 二線校舎の解体については、さまざまな検討を重ねた結果であり、理解願いたい。

問 新たに造成する新体育館西側の4メートル幅の道路の除雪体制はどうなっているか。

答 新設道路の除雪体制については、車両部門と再度協議し、対応を考えたい。

問 2階の武道場の西側に窓を設置できないか。

答 武道場の窓については検討したい。

### ●まちづくり計画と工事実績

平成23年度から25年度までのまちづくり計画における道路事業費は、1億9900万円であるが、実績については事業費で約3億4600万円であり、事業の前倒しなどにより74％の増加となっている。今後についても、道路の状況に応じ、計画及び実施年度を見直しつつ対応したいとのことであった。

平成25年度予算を補正しました

町の現状を視察しました

お知らせします

裏表紙は...  
「議会からのお知らせ」など

## 議会活動日誌

平成25年9月～11月

### 【9月】

- 2日 第2回南十勝消防事務組合議会臨時会
- 3日 第2回南十勝消防合同実践訓練（大樹町）
- 5日 第5回議会運営委員会
- 6日 砕氷艦「しらせ」入港歓迎式・特別公開・艦内昼食会・入港歓迎パーティー
- 8日 第21回福祉まつり及び高齢者芸能発表会  
砕氷艦「しらせ」艦上レセプション
- 10日 第3回広尾町議会定例会（～13日）
- 12日 広尾市街地区敬老会  
第58回十勝港まつり協賛会会議
- 20日 広尾町開町記念式典
- 21日 十勝神社本祭
- 24日 特養、養護、生活支援ハウス合同敬老会

### 【10月】

- 1日 産業常任委員会行政視察調査（～2日・苫小牧市、石狩市）
- 9日 厚岸町議会厚生文教常任委員会行政視察
- 15日 総務常任委員会行政視察調査（～17日・東神楽町、小樽市）
- 23日 第4回町議会臨時会  
決算審査特別委員会（～25日）
- 26日 広尾サンタランドツリー点灯式
- 29日 広尾町高齢者スポーツ大会

### 【11月】

- 8日 海自大湊地方総監訪問（青森県）  
十勝町村議会議長会議員研修会（中札内村）
- 10日 東京広尾会総会（東京都）
- 12日 第4回議会広報特別委員会
- 13日 第57回町村議会議長全国大会（東京都）  
道東自動車道&帯広・広尾自動車道早期建設促進講演会（幕別町）
- 15日 広尾町教育力向上推進事業  
「小・中学校ジョイントプロジェクト事業」  
実践研究発表会
- 19日 第6回議員協議会
- 28日 十勝圏複合事務組合議会定例会（帯広市）  
十勝環境複合事務組合議会定例会（帯広市）
- 30日 「政経セミナー」（幕別町）

## 閉会中の所管事務調査

議会では、次の定例会（平成25年第4回定例会）までに、これらの所管事務調査を実施します。

### 総務常任委員会

- ①先進地における福祉行政について

### 産業常任委員会

- ①先進地における港湾施設の現況について

### 議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の会議規則、委員会条例等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

次の定例会の開会予定は

**12月6日(金)**

傍聴お待ちしております！

「議会は公開が原則」

町民みなさんの生活に身近なことについて審議する場が「議会」です。  
傍聴に関することは議会事務局

TEL 01558-2-0180

までお問い合わせください。



定例会は年4回

「3月・6月・9月・12月」開催

**議会改革 議会会議録の公開始まる！**



広尾町議会では、本会議と予算審査特別委員会の会議録を平成25年3月開催の第1回定例会から順次公開。どうぞご覧ください。

広尾町の  
ホームページから  
このボタンをクリック！



師走を迎えました。誰が走るのでしょうか。師とは師匠である僧のことで、誰もが年の瀬を控えて何かと気忙しく慌ただしくなる時期で、どっしり構えて読経する師僧までもが走り回らなければと思わせるほどの多忙な月であるとされています。

東日本大震災の被災地も3度目の師走を迎えました。

福島県の原発はいまだに予断を許さない状況が続いています。苦難の道を歩んでおられる方々に心より敬意を表します。

議会は与えられた大きな権限と役割を最大限に発揮するため、町民皆さまに開かれた議会を目指し、議員同士が活発に議論を重ね、町部局としてかかりとした議論を交わし、議会の政策形成能力を高めていくことなどを目的として、議会改革を進めてまいります。

議会だよりも、議会改革の重要な手段として、読みやすく、わかりやすい紙面へと、充実させてまいりたいと思っております。

編集後記

ざかいクイズ (8ページ) のこたえ

Q1…ウ.25歳 Q2…ア.13人 Q3…イ.選挙 Q4…イ.4年 Q5…イ.4回 Q6…ウ.だれでも

広尾町議会だより No.167

